

第1回 小山市まちづくりと新交通の導入に関する検討委員会
まちづくり部会・新交通システム部会（合同会議）

議事要旨

1. これまでの経緯等について

(1) 小山市まちづくり総合交通戦略について

- ◇ 高岳引込線沿線の地域分断の解消はどのようなことを考えているのか。(A委員)
 - 踏切にするか信号にするか等の具体的な方法は、軌道法か鉄道事業法のどちらに基づく事業にするかにもよるため、今後の検討課題としたい。(事務局)

(2) 新交通システムについて

- ◇ BRT（バス高速輸送システム）は検討対象になるのか。(B委員)
- ◇ 鉄軌道以外にも選択肢を広くすることも考えらえる。(大森宣暁副委員長)
- ◇ 鉄軌道であればBRTは対象外となる。高岳引込線の鉄軌道の活用を前提にすれば、議論が発散しなくてよい。(C委員)
 - 交通システム部会で整理してほしい。事務局でも対象を明確にしてほしい。(永井委員長)
- ◇ これまでに何が決まっていて今後何を決めようとしているのか。(D委員)
 - 東光高岳による貨物利用の機能を残し、公共交通としても活用したいことが前提。(事務局)
- ◇ 蓄電池式車両は開発段階ではなく、台湾等では実際に走行している。(C委員)
- ◇ 概算費用を提示していただきたい。(E委員)
 - 概算費用は一般的な事業費であれば今年度に提示可能である。(事務局)

2. 討議の論点と進め方について

- ◇ 小山市全体の中で、各々の地区で何をされていて当地区はどんな方向性で魅力を高めるのか補足説明してほしい。(F委員)
 - 次回のまちづくり部会で資料を用意する。(事務局)
- ◇ 今ある高岳引込線のレールの活用を前提に議論した方がよい。(C委員)
- ◇ まちづくりが求める内容により交通システムの方向性が決まってくる。高岳引込線沿線のまちづくり関係の構想はあるのか。(G委員)
 - 当地区におけるまちづくりの計画は無いため、新たな構想が必要である。(事務局)
- ◇ 当地区のエネルギー関連の取り組み等も紹介しながら、スマートコミュニティや高齢者にやさしいまちづくり等についても議論できればと思う。(豊川副委員長)
- ◇ まちづくり部会で議論したことを交通部会に情報提供してほしい。(H委員)
- ◇ まちづくりの方向性が決まらなるとそれに合った新交通を選択できない。(I委員)
- ◇ レールの活用が前提であれば交通システムの方向性は絞られる。交通部会でもまちづくり部会と並行して検討することは可能である。(C委員)
 - 必ずしもまちづくりの検討が先行する必要はなく、交通からみたまちづくりの提案もできる。理想はまちづくりから必要な交通システムを検討することだが、実現性や経済性の議論も関係してくる。各部会で検討する範疇を明確にしながら、できることを議論してはどうか。(永井委員長)

以上